

一般社団法人福岡県学校歯科医会 News Letter

FUKUOKA ASSOCIATION OF SCHOOL DENTISTS

Vol.13

2021 年8月発行

CONTENTS

第32期福岡県学校歯科医会役員選任	1
第32期役員紹介	2~3
第32期執行部並びに合同会議開催	4
第32期常任委員会紹介	5
特集 保健指導をしよう	6
令和3年度定時総会（第115回）	7
第102・103回日本学校歯科医会代議員会	7
予告、編集後記	8

第32期 福岡県学校歯科医会役員選任



令和3年6月12日(土)第115回福岡県学校歯科医会定時総会におきまして、第32期役員が選任されました。

コロナ禍の中での新たな出発となります。今期ではこのような現状に合わせ、事業の見直しや改善、費用対効果を考えた活動に心がけ、全役員知恵を絞りあって会務に取り組む所存で御座います。

また、会員の皆様一人ひとりのご要望やご意見にも対応できるよう心がけます。

会員の皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

第32期 役員紹介

一般社団法人福岡県学校歯科医会

任期：令和3年6月12日～令和5年6月定時総会終結時

会長 平瀬 久義



福岡県学校歯科医会会員の先生方には、日頃より学校歯科保健活動に対しまして多大なるご尽力を賜っておりますこと、心より感謝申し上げます。

私たち学校歯科医は、児童生徒の歯・口の健康を保持増進させるという国の施策において、様々な法令のなかで公的身分が保証されています。

歯科医はかつて「学校健診は医科だけで十分、歯科はいらない」といわれた時代があり、先輩方が苦勞に苦勞を重ねてきた過去があり、その結果と実績が今の学校歯科医にあります。「健康診断さえすればいい」というのは、一昔前の認識となりました。現在、学校歯科医は児童生徒の健康の保持増進をさらに発展させていくという、健康教育を預かる大事な学校職員の一員となっています。

今回、会員のみなさまにお約束いたしました「①会員の信頼とご理解をいただく（会員の目線と会の目線があっているのか）②費用対効果を見据えた大幅な組織改革・事業計画の検討③会務執行に議論を尽くす」以上を最優先に取り組んで参ります。

どうぞ今後の当会の活動に対しご指導、ご協力よろしくお願い申し上げます。

副会長 三箇 正人



福岡県は、二つの政令都市があるため県に三つの教育委員会があり、それぞれのエリアに合わせた立場での教育行政がなされています。その為、学校歯科保健活動もエリアで異なり、各郡市区の取り組みにも大きな違いがあります。その現場での声に真摯に耳を傾け、未来の社会を担う子ども達の為、会員の皆様の為、平瀬執行部の一員として全力を尽くします。ご協力よろしくお願いいたします。

副会長 永江 正廣



校医とは何でしょう？「健康診断と相談を行い口腔の不安に対処すること。学校保健委員会へ出席して口腔内の現況と事後措置にコメントする。授業を提案して、歯と口の健康の学習に世話をやく。学校の行事は見学に行き、歯科の目線で子供たちを見守る。」これだけで、子ども達は意識が変わり明るい人生につながるでしょう。およそ学校歯科医の任務はここにあり、私はそのような姿を取り戻したい。

専務理事 岡村 博久



この度、平瀬新会長による第32期執行部発足に際し、専務理事を仰せつかりました。新体制のもと、福岡県学校歯科医会の改革、発展、また会員の皆様方の為、微力ながら貢献させていただきます。

常務理事 加来 弘志



この度、常務理事を拝命することとなりました。児童生徒の健康増進と福岡県学校歯科医会の更なる発展に尽力してまいる所存です。よろしくお願いいたします。

常務理事 菅 義浩



普及指導担当として任命された菅です。学校歯科医の先生方へのお力に少しでも貢献出来るよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

理事 安藤 徹



この度、学術担当理事を務めさせていただくことになりました。本会の事業が充実かつ有益なものとなるよう尽力する所存です。会員の先生方のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

理事 石川 毅彦



理事就任1年目で統計調査を担当いたします。

正確でわかりやすい調査報告書作成を心がけ、学校歯科保健活動の指針として御活用いただけるように、微力ながら尽力していきます。

理事 白木 博繁



広報委員会を担当させていただきます。会員の先生への迅速で正確な情報発信に心がけます。

また県民へ向けた情報発信により、当会の活動への県民の理解を深め、会員の信頼度の向上に努めます。

理事 入江 祐彰



今回、初の理事職を命ぜられ、身の引き締まる思いです。3期で培った広報委員の経験を下に、会員の皆様に親しみやすい広報誌の作成を心掛け、県学歯の活動をPRしていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

監事 田中 敏治



監事の立場で事業、会計を見守ることは重要な職務の一つですが、会員の要望を真摯に受け取り、会に反映できる役員会を作っていきます。会員の減少を食い止め健全な運営ができる様、新会長と一緒に新風を吹き込みたいと思います。

監事 井尾 尚



初めて監事職を拝命し、多少不安を感じていますが、県学歯の業務をしっかりと把握し、職務を遂行したいと思います。

第32期 執行部並びに合同会議開催



令和3年3月13日（土）、令和2年度臨時総会（第114回）における第32期会長予備選挙で平瀬久義先生が会長候補に選出、令和3年6月12日（土）の令和3年度定時総会（第115回）の選挙で、第32期の理事と監事が選出され、平瀬会長1期目となる第32期新執行部が発足した。

令和3年7月24日（土）、福岡県歯科医師会館5階中ホールにて、新役員・委員が招集され、今期初の合同会議が開催された。委員14名中7名が再任・7名が新任となった。

岡村専務による開会の辞、平瀬会長による会長挨拶の後、委員の委嘱及び職務分担、令和3年度福岡県学校歯科医会事業についての説明があった。今期は新理事4名を迎え、また、各委員会についての役割について各理事より説明がなされ、事業に関しましても新たな試みがなされ大きな変革の年となると感じた。

各委員会では、委員長と副委員長が互選され、令和3年度年間行事打ち合わせ等を話し合い、前期からの引き継いだ事業について説明を受け、それぞれの活動を行った。

例年は、合同会議後に懇談会を開催していたが、本年は新型コロナ感染拡大の状況を踏まえ開催しない事となった。



学 術 委 員 会



学 術	氏 名	郡 市 区
理 事	安 藤 徹	飯 塚
委 員 長	江 口 明 宏	八 幡
副委員長	井 上 浩	大 牟 田
委 員	楠 本 俊 司	八 幡

普 及 指 導 委 員 会



普及指導	氏 名	郡 市 区
常務理事	菅 義 浩	田 川
委 員 長	井 上 良太郎	筑 紫
副委員長	田 村 昌 彦	浮 羽
委 員	古 賀 齊	久 留 米

統 計 調 査 委 員 会



統計調査	氏 名	郡 市 区
理 事	石 川 毅 彦	大川三瀬
委 員 長	古 賀 祥 朗	朝 倉
副委員長	上 鶴 昌 史	直 方
委 員	吉 永 光 廣	筑 紫
委 員	横 山 大 樹	八女筑後

広 報 委 員 会



広 報	氏 名	郡 市 区
理 事	白 木 博 繁	小郡三井
理 事	入 江 祐 彰	宗 像
委 員 長	加 塩 大 輔	門 司
副委員長	山 地 将 太	小 倉
委 員	高 橋 眞 一	粕 屋
委 員	山 崎 浩 史	糸 島

「保健指導をしよう」

理事 入江 祐彰

皆さんは学校において学校歯科医として、「保健指導」を行ったことがありますか。

長引くコロナ禍によるストレスで、児童生徒の口腔内環境が悪化している可能性があります。

児童生徒の「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくりのため、健康診断の結果を集計・分析して、自分の担当校（園）の課題を明確にし、それを学校保健委員会等で教職員や保護者に提言して、事後措置として保健指導を行うのも学校歯科医として本来、あるべき姿です。

具体的には個別指導のほか、集団指導として児童生徒やPTAを対象に保健講話を行ったり、保健日よりなどに寄稿するなどの方法があります。

環境が許せば、リモートでの保健指導も可能かもしれません。

ここで注意すべき点は学年別の傾向や特徴を話すだけではなく、児童生徒が口腔保健の大切さを理解し、自主的に行動できるよう促すことです。

何を話してよいかわからない場合には、例えば日本学校歯科医会会誌に広告が入っている株式会社全教図の歯科保健指導教材シリーズ（日学歯監修）などの教材を活用したり、県学歯の事務局にお問い合わせ頂ければ、参考図書の貸し出しも可能です。

ちなみに福岡県学校歯科医会では2013年に「学校歯科保健指導マニュアル 学校歯科保健の実践—プレゼンテーション手引書—」という冊子を発行し、貸し出し用CD-ROMは各加盟団体が保管してあります。

今号では小学校の保健教育について、日学歯発行の学校歯科医のマストアイテム「学校歯科医の活動指針」から保健指導のポイントを以下に列挙します。

・低学年（第一大臼歯や中切歯の生える時期）

- ①好き嫌いなく、よく噛んで食べる習慣づくり
- ②規則的な食事の習慣づけと間食のあり方
- ③第一大臼歯のむし歯予防と管理
- ④歯の萌出と身体の発達の気付き
- ⑤自分の歯・口を観察する習慣づけ
- ⑥食後の歯・口の清掃の習慣化と自律
- ⑦休憩時間等での衝突・転倒等による歯・口の外傷の予防



・中学年（犬歯や小臼歯の交換時期）

- ①好き嫌いなく、よく噛んで食べる習慣の確立
- ②規則的な食事の習慣づけと間食のあり方
- ③上顎前歯や第一大臼歯のむし歯予防と管理
- ④歯肉炎の原因と予防方法の理解
- ⑤自分にあった歯・口の清掃の工夫
- ⑥歯の形と働きの理解
- ⑦休憩時間等での衝突・転倒等による歯・口の外傷の予防



・高学年（乳歯から永久歯への交換が終了し、第二大臼歯が生える時期）

- ①咀嚼と体の働きや健康との関わりの理解
- ②むし歯の原因とその予防方法の理解と実践
- ③第二大臼歯のむし歯予防と管理
- ④歯周病の原因とその予防方法の理解と実践
- ⑤自律的な歯・口の健康的な生活習慣づくりの確立
- ⑥スポーツや運動等での歯・口の外傷予防の大切さや方法の理解



※写真はコロナ禍以前のものです。

1. 点 呼 代議員31名中30名出席
2. 開 会 副会長 平瀬 久義
3. 会長挨拶 会 長 杉原 瑛治
4. 物故会員の弔慰
5. 議事録署名人の指名
議 長 田中 敏治 (飯 塚)
東 地 区 後藤 英伸 (飯 塚)
北 地 区 原田 孝昭 (八 幡)
6. 報 告
監査報告 監事 永江 正廣

7. 決議事項
第1号議案 令和2年度一般会計収支決算について 可決
第2号議案 令和2年度基本財産積立金特別会計決算について 可決
第3号議案 令和2年度職員退職積立金特別会計決算について 可決
第4号議案 第32期役員理事選挙 可決
第5号議案 第32期役員監事選挙 可決
8. 協 議
9. 閉 会 副会長 須ノ内 茂子



第102・103回 日本学校歯科医会 代議員会

会長 平瀬 久義

公益社団法人 日本学校歯科医会 第102回臨時代議員会

令和3年5月27日(水) アルカディア市ヶ谷にて102回臨時代議員会が開催されました。これは現行の選挙権について、日本学校歯科医会選挙規則第17条において「・・・代議員会に出席した者が選挙権を有する」と定めており、法人法に認められている書面決議権の行使を制限する状況にありこれを改定するために開催したものです。

1. 氏名点呼
2. 議事録署名人指名
3. 挨拶
4. 議事運営特別委員会報告
5. 議 事 第1号議案 公益社団法人日本学校歯科医会選挙規則改定

6. 閉 会
その結果、第1号議案可決決定いたしました。

公益社団法人 日本学校歯科医会 第103回定時代議員会

令和3年6月23日(水) 歯科医師会館1階大ホールにて、日本学校歯科医会第103回定時代議員会が開催され、来賓のご挨拶は書面でいただき、福岡県学校歯科医会からは、三箇副会長、平瀬が出席しました。

今回も第102回に引き続きコロナウイルス感染防止の観点から3月の定時代議員会の運用と同じく特例として書面決議による参加が認められ、報告事項は口

答説明省略、議案に対する審議のみとし、その他会議の効率化が行われるなど、対策がとられました。

また今期事業については、コロナウイルス感染症の現状を配慮しながら、各種報告があり、具体的事業について説明がありました。

1. 令和2年度における日学歯の概要及び事業内容
 2. 令和2年度における当会の運営・管理体制
- 次に、以下の2議案が上程され審議採決が行われ、過半数の賛成で可決決定いたしました。

議 事

- 第1号議案 令和2年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)並びに財産目録の承認
- 第2号議案 役員選任

追 伸

1. 第2号議案可決決定により、20人の役員選挙候補者及び3人の監事候補者全員承認を受け、日学歯理事に平瀬が、監事に三箇副会長が就任しました。
2. 第71回全国学校歯科医協議会(10月28日開催)について、WEB配信及び紙上による開催に変更されました。



物 故 会 員

自 令和3年4月18日 至 令和3年7月24日

ご冥福をお祈り致します

堤 博 幸 72才 (粕 屋)

予 告

第26回福岡県学校歯科保健研究大会

日 時 令和3年11月20日(土)

場 所 福岡県歯科医師会館 5階
大ホール

福岡県学校歯科医会では、令和3年5月からホームページをリニューアルしております。コロナ禍の中、会員の皆様へ出来るだけ早く有益な情報を発信するため、広く県民へ学校歯科としての活動を周知し会員への理解を深めることを目的に新たなものへ変更させていただいております。また、スマートフォンでも見やすくさせていただいております。

まだ未 completion 部分はございますが、引き続き改善しより充実したものになしたいと思っております。

福岡県学校歯科医会ホームページ <https://fk-gakusi.jp>



待ちに待った新型コロナワクチン接種が始まりました。歯科医師も駆り出され、早急なワクチン接種の拡大が望まれています。心配なのは、変異ウイルスです。今のところ大丈夫そうですが、油断はできません。今後も学校も含め、「新しい生活様式」に沿って生活していかなければいけません。

この状況を見据え学校歯科医会は、新たにデジタル化推進臨時委員会を設置しました。

テレワークやオンラインシステムの活用は、学校歯科医会と学校を結ぶ最適なツールと考えます。学校歯科医が学校に向き健康教育をするのが難しくなった現在、学校歯科医会で用意した映像やビデオ通話などを使ったオンライン教育が、定期的に行えるようになるのも夢ではありません。学校のタブレット普及も進んでいます。コロナが終息した後も残ったツールです。最後に私事ですが、2015年に広報委員会に委嘱され、この編集後記が最後の仕事となりました。6年間寛容に接して頂き有難う御座いました。

前広報委員 安田 誠

News Letter Vol.13

毎年3回発行

発行人 平瀬 久義

発行所 〒810-0041
福岡市中央区大名1丁目12-43
福岡県学校歯科医会内
TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599
E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp
U R L <http://www.fk-gakusi.jp>

印刷所 〒812-0065
福岡市東区二又瀬新町12-29
(株)大里印刷センター
TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715